

自分たちでつくった「回覧板」。

富水地区、地域循環型自主財源への取り組み（後編）

富水地区まちづくり委員会



前列左から「富水地区まちづくり委員会」の、内海さん、木村会長、高橋さん、後列左、篠原さん。後列右は制作を担当した弊社の長嶺。（取材場所協力：城北タウンセンターいずみ）

らその説明は必要ですね。

内海 *₂ 気をつけたいのは以前の業者との関係ですよ。ズーっとそこと契約をしてたから、もう契約しなかったという人がいて、行き違いになったところも3、4件あるので、もう少し早めに（自作の回覧板に切り替わる）事前告知ができれば良かったですですね。

高橋 （自作の回覧板なら）お金が地域のために使われることとかも知ってほしいですね。次回は現物があるから、こういう回覧板ですとデザインを見てもらえて、広告集めが楽になると思う。

木村 来年の予約をしてくれてる人も、もういますよ。

高橋 あと古いのは全部撤収することを徹底しないとイケないですね。自治会長が4月に変更するので、名簿も変更になる。4月スタートになるようにするのが一番いい。

篠原 次回は、こういう事業をやっていると、いうことを回覧板で周知したらいいかもしれませんね。広告主にはお知らせはしたんですけど、一般の皆さんにはしていな

*1 「まちづくり委員会」とは、自治会、地区社会福祉協議会、民生委員・児童委員協議会など地域の様々な団体の参加により、住民自らが取組を行っている組織。



かったので。

木村 完成品を（小田原市自治会総連合の）役員会に行つた時に見せたら、（よその自治会でも）やりたいという声が多かった。ただ、自治会長だけじゃできなくて、事務ができて動ける篠ちゃん（＝篠原さん）みたいな人が必要だね。

篠原 広告のデザインについては、広告主は「おまかせで」と言ってくるので、どうしようかなーと、ホームページからイメージをとったりだとか、実際に行つて看板を撮ってきて、こねこさん（＝デザインこねこ）に写真を渡したり。

木村 そういうことができる人がいないとできないよな。

高橋 中町に友達がいるんだけど、この回覧板見せたらびっくりしちゃって、すばらしいねって（笑）。自分たちもこういう取り組みできるかなーって。

篠原 手順もスケジュールも作ってありますし、要項も名前を変えればいつでも使えますので、お渡しすれば他の自治会の方でもすぐにできるようにしてあります。

内海 今後は、「得た収益をこういうところに使ったよ」というのがわかればいいと思います。そうすれば、浸透していくんじゃないでしょうか。

材質と、デザインについて

篠原 色がいいですね。こちらの色にして良かった。

長嶺 今回、これまでの回覧板と差別化を図るためと、おそらくこの取り組みは長く続くものと考え、長く使えるシンプルでトラディショナル（伝統的）な雰囲気を感じさせるデザインにしました。そこで、色もそれに合わせたアイボリーにネイビーのラインの、このタイプを最初にご提案しましたが、さすが、せっかくなので、色もある程度ご自分たちで決めていただいた方が愛着もわくと思います。「富水」をイメージした水色系と、稲の緑系も色パターンとしていくつかご提案させていただきました。結果、最初のをお選びいただきましたが。

篠原 そうそう。こちらの色も綺麗でした。でも、この色で良かったです。とても評判がいいですよ。広告主の会社の受付にこの回覧板を立てかけてあって、びっくりしましたよ（笑）。

高橋 厚紙の質も前より良くなって、高級感が出てますよね。

木村 コーティングしてあって、汚れにくくていいね。

長嶺 それと、回覧板のバインダー面が空いていたので、今回の取り組みのコンセプトを載せることをご提案させていただきました。ですが、出来上がって見て、それがとても良かったとおもいました。問い合わせ先も明記してあることで、回覧板を見た方が、広告についての相談や取り組みについても、質問できるようにもなっています。



バインダー面に入れた類いごとで、毎回書目を変える度に目に入る。

10パターン以上の色合せを検証。

あなたの自治会の回覧板を作りませんか。「おとなりさん」が、お手伝いします。

おとなりさん編集部 ☎0465・20・7745

（デザインこねこ株式会社）